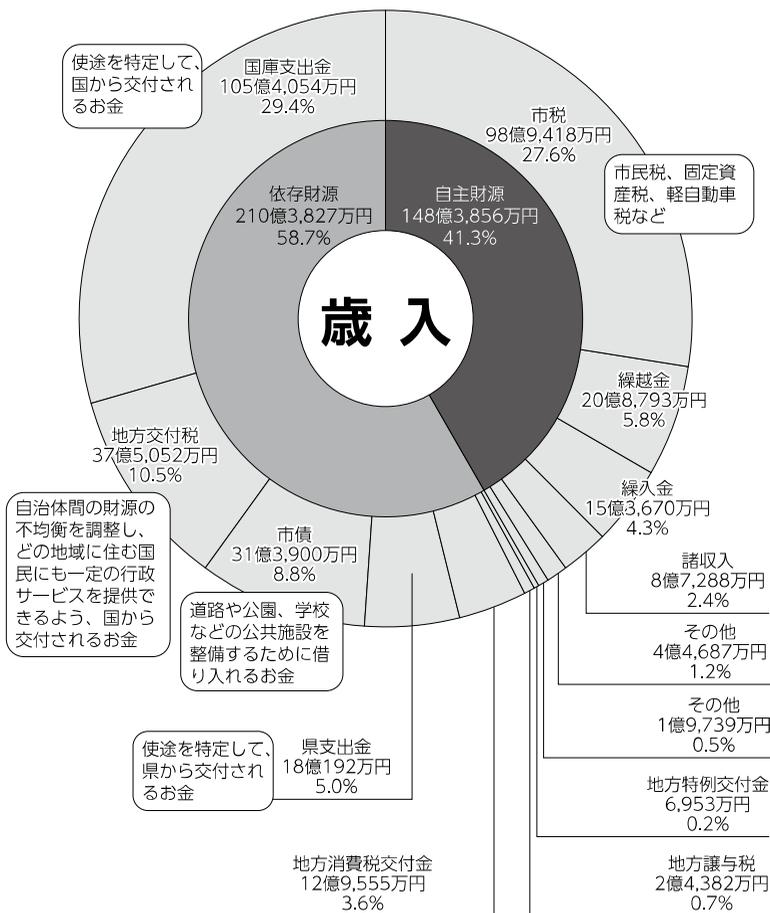


X 財政

1. 令和2年度一般会計決算額

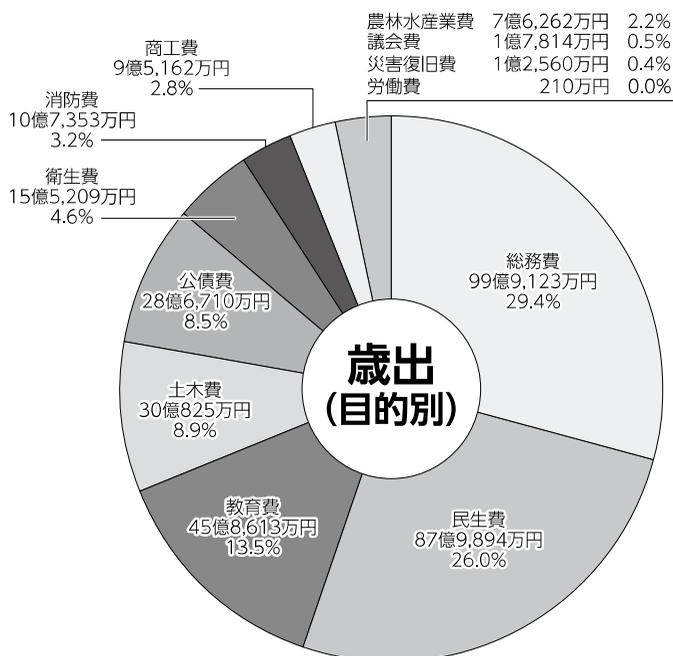
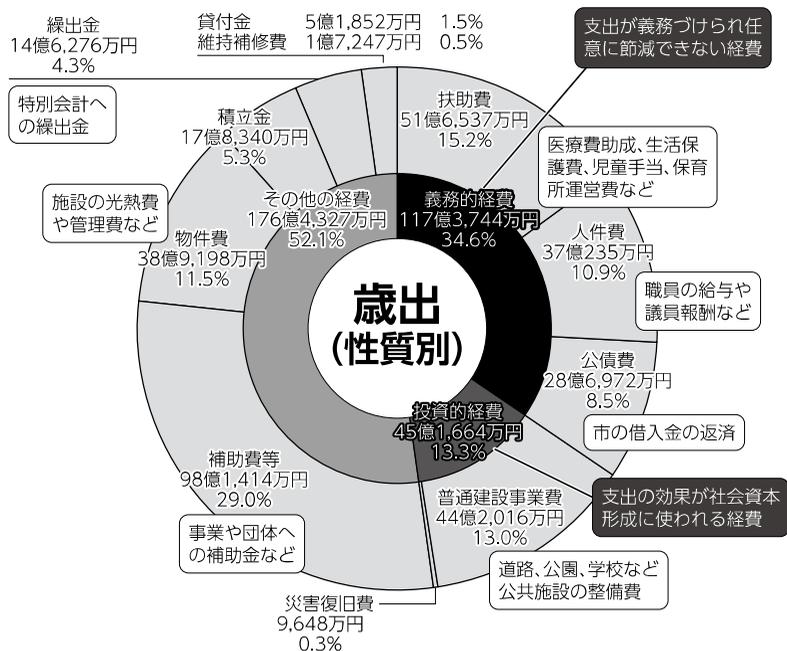
歳入総額 358億7,683万円(前年度比70億1,863万円、24.3%増)



「自主財源」は、市が自主的に集めることのできるお金のことです。この割合が高いほど自主的な運営がしやすくなると考えられます。

「依存財源」は、国や県の考え方を反映させ、決まった額を受け取るお金のことです。

歳出総額 338億9,735万円(前年度比71億2,708万円、26.6%増)



市税の負担状況

| | 1人あたり | 1世帯あたり |
|-------|----------|----------|
| 市税全体 | 164,655円 | 399,889円 |
| 市民税 | 78,042円 | 189,537円 |
| 固定資産税 | 70,059円 | 170,148円 |
| 軽自動車税 | 2,409円 | 5,850円 |
| たばこ税 | 5,803円 | 14,094円 |
| 都市計画税 | 8,342円 | 20,260円 |

皆様から納めていただいた税金を税目ごとに住民基本台帳人口、世帯数で割っています。

◆ 住民基本台帳 ◆

(令和3年3月31日現在)

人口 60,053人

世帯数 24,727世帯

下野市の財政を家計簿にたとえると・・・

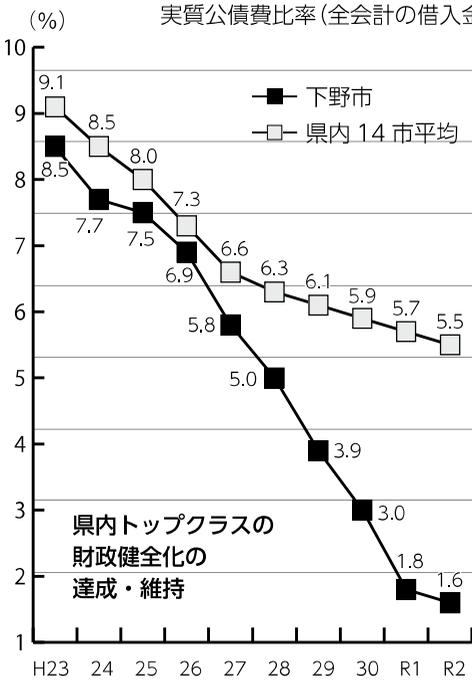
下野市の決算状況についてより身近に感じてもらうため、令和2年度一般会計決算を年収600万円の家計にたとえ「1年間の家計簿」を作成しました。なお、市と一般家庭では会計方法等が異なるため、単純な比較とはなりませんのでご了承ください。

| [収入] | | | | | |
|-----------|-------|-------|---------------------------|-----------------|--|
| 項 目 | 金 額 | 割合 | 決算上の区分 | | |
| ①給与収入 | 基本給 | 166万円 | 28% | 市税 | |
| | 諸手当 | 93万円 | 15% | 地方交付税 譲与税 など | |
| ②パート収入 | 22万円 | 4% | 使用料及び手数料 財産収入 諸収入など | | |
| ③親からの援助 | 206万円 | 34% | 国県支出金 | | |
| ④預金取り崩し | 26万円 | 4% | 繰入金 | | |
| ⑤ローン | 52万円 | 9% | 市債 | | |
| ⑥前年からの繰越金 | 35万円 | 6% | 繰越金 | | |
| 収入合計 | 600万円 | | | | |

| [支出] | | | | |
|------------------|-------|-----|--------------------|--|
| 項 目 | 金 額 | 割合 | 決算上の区分 | |
| ①食費 | 62万円 | 11% | 人件費 | |
| ②家族の医療費 | 86万円 | 15% | 扶助費 | |
| ③日用品の購入や光熱水費など | 68万円 | 12% | 物件費 維持補修費 | |
| ④仕送り | 25万円 | 4% | 繰入金 | |
| ⑤自治会費や保険料 | 164万円 | 29% | 補助費 | |
| ⑥ローンの返済 | 48万円 | 9% | 公債費 | |
| ⑦株などへの投資 | 8万円 | 2% | 貸付金 | |
| ⑧自家用車の購入や家の増改築など | 76万円 | 13% | 普通建設事業費 災害復旧費など | |
| ⑨貯金 | 30万円 | 5% | 積立金 | |
| 支出合計 | 567万円 | | | |

収入の差額33万円は
翌年へ繰越となります。

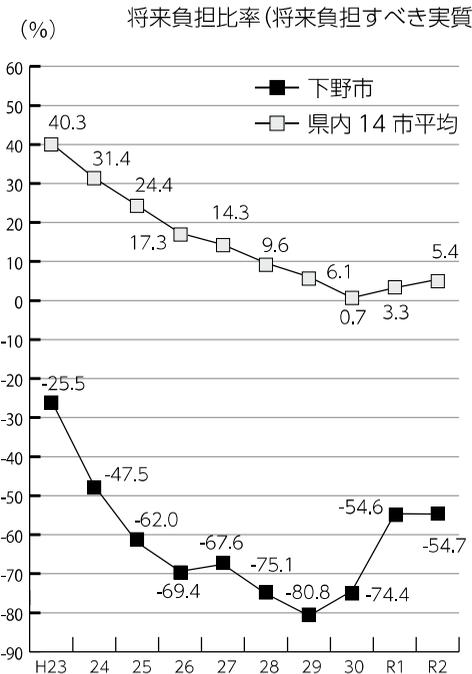
下野市の財政状況



18%以下……望ましい
18%を超えると…注意

市税などの一般財源に占める公債費(借入れた地方債の返済金)の割合を示すもので、公債費が市の財政を圧迫していないかを見るものです。この数値が18%を超えると借入に県の許可が必要となり、25%を超えると借入を制限されます。

今年度は1.6%で、前年度の1.8%から0.2ポイント好転し、14市平均を下回っています。(県内1位/14市)



低いほうがよい
350%以上……危険

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。この数値が350%を超えると早期健全化団体となります。

今年度は-54.7%で、前年度の-54.6%から0.1ポイント好転しました。(県内1位/14市)